

稲山会 通信

第19号

2009年7月10日発行

発行人：斉藤雄二 発行所：稲門山の会事務局 TEL03-3367-3723 FAX03-3367-8150 ©稲門山の会1998

2009年新年会

2009年2月7日（土）大隈会館において62名の参加を得て、今年も新年会が盛大に開催されました。

今年は遠方のOBの方々とOGの方々に参加して頂くために平日の夜ではなく、初めて土曜日に開催いたしました。また登山用具のオークションも行われ大いに賑わいました。結果、昨年を上回るOBGの方々が出席され、終了時間を延長するほど盛り上がりました。

遠方から参加された、大分からの広瀬OB、札幌からの狩野OB、佐渡からの納見OB、新潟からの滝沢OB、諏訪からの金子（弘）OBの方々がありがとうございました。 金子治雄（S.41年卒）



▲上田代表・開会の挨拶



▲宮野OB乾杯の挨拶



▲司会の岡OB



▲野村君（現役）のエール

出席者（卒業年度、会員番号順）

33、34年卒 上田、小松、各OB 35年卒 納見、田野、小島、宮野、上田（敦）、各OBG
 36年卒 新川、藤沢、清水、広瀬、西山、荒川、山本（貴）、加納、滝沢、角田、各OB
 37年卒 山本（道）、恩田、金子（弘）、胡桃、卯月、三木、打矢、各OB
 38年卒 宇野澤、松村、白倉、吉田、各OB 39年卒 秤、真下、各OB
 40年卒 笠原、梅崎、鈴木（精）、関根、山崎、斉藤（洋）、菊池、長谷川、五十嵐、井村、保屋野、各OB
 41年卒 杉村、金子（治）、海野、各OB 42年卒 松浦、久富、渡辺、各OB
 43年卒 佐久間、太郎良、猪俣、各OB 45年卒 青山、斉藤（延）、各OB
 46年卒 島田、新井、各OB 48年卒 林OB
 49年卒 箕打OB 50年卒 岡OB
 52年卒 狩野OB 53年卒 志知OB 平成16年卒 桐山OB
 現役 野村

計62名

会員近況報告—2009年新年会返信はがきより—

- * 5月白馬大雪渓・八方尾根・丸山まで。6月山梨県竜ヶ岳。74歳になり、山も遠くなってきました。元気です。(S.33清水正昭)
- * 一番下の小学生の孫とハイキング・スキーを楽しんでいます。今年は夫婦でペルー・アンデスのトレッキングへ行く予定です。(S.33三ツ木信二)
- * 会合が重なり今回は失礼します。皆様に宜しくお伝えください。テニス・ゴルフ・家庭菜園と結構充実しています。(S.33藤田忠彦)
- * 昨年末に三日間スキーを楽しみました。今シーズンはできるだけ滑ろうと考えています。昨日年会費を払い込みました。(S.33難波菊次郎)
- * 70才を超えた(73才)私に突然50肩(肩関節周囲炎症)が襲いました。半年経ち治りません。不思議な筋肉痛で、夜熟睡が出来ません。年老いたナア(S.33納見明德)
- * 何やら名簿を作り変えるという話があるが、そんな金があるなら、新人獲得の為に費用を使って全力をつくすべし。(S.34市村栄一)
- * 山よりも人間が創り出したものに興味が移行。現在イタリア・ワインにのめり込んでいます。(S.34宮野準治)
- * 昨年は夜叉神峠、大雪山、谷川岳等に登ったほか熊野古道を歩いてきました。今年も色々出掛けるつもりです。ポケ防止に外国語を学び、本も1日1冊を読むべく今年も努力を続けます。昨年で365冊を4年連続で達成。今年で5年連続とするつもりです。(S.35清水保宏)
- * 平成19年秋より病に伏せております。目下治療に専念中です。参加諸兄によりしく。(S.35杉山宏)
- * 出席できず申し訳ありません。本年も宜しくお願い致します。今だ現役の為、当日出張中で残念です。皆様によりしくお伝えください。(S.37東正躬)
- * 極めて平凡な毎日です。週4 or 5日の半日勤務と3日間(月・火・木)、2日間(水・金)をダンス、卓球と判で押した様な2スケジュールを消化しております。従って山らしき所へは土・日の仕事が休みの日に限られます。皆さんに宜しくお伝えください。(S.37石川俊彌)
- * 山とスキーから足を洗って15年。この間軽いハイキングと女房のお供で欧州の美術館巡りをしています。今年6月に



▲笠ヶ岳を背にした雲の平

- しています。今年6月に
- 栂池、秋にはドロミテ山麓を散策しようと思っています。(S.38青木一隆)
- * 変わりばえのしない日々を過ごしております。今年が、参加された皆様にとって、よりよい年となりますよう、お祈り申し上げます。(S.38弘海都子)
- * 山は自宅に比較的近い奥武蔵や秩父方面に行くことが多いこの頃です。(S.39金榮紘夫)

- * 幹事の方々、ご苦勞様です。今回の（新年会）企画はGoodです。参加者が増えるのでは？
150km北の那須にも温暖化の波が押し寄せています。（S.40鈴木精一）
- * 女性会員が参加しやすいよう色々ご配慮いただきましたのに、出席出来ず、あいすみません。
（S.40松村葉子）
- * 折角、女性も出席しやすいようにとご配慮くださいましたのに、すみません。（S.40堀口公子）
- * 現役山の会再建のため全力を尽くします。OB諸兄姉のご支援をお願い申し上げます。（S.41濱田政則・「山の会会長」）
- * 昨年7月より年金生活になりました。山の方は相変わらず老人山岳会の仲間と登っています。
今年の秋はエベレスト街道のトレッキングを予定しています。（S.42松浦（山本）正道）
- * 月一回のペースで山に登っています。特に九州の山に力を入れています。大隅半島南端にある
稲尾岳の照葉樹林には感動しました。9月に行った対馬の山も原始そのもので素晴らしかったです。
（S.41太郎良博）
- * 一度参加して、皆様とお会いしたいと思っておりましたが、所用の為参加できません。山はチョコ
チョコ登っています。昨年は初めて北海道の大雪山、十勝岳に登ってきました。（S.43上原敏行）
- * 山の会の先輩の皆様が元気に国内・国外の山に登られている様子を見聞きしながら、仕事を終
えたらその様に登りたいと少しずつ準備中です。（S.46新井昭夫）
- * 長男が3月にやっと早稲田を卒業します。あと2人いますが、少しは楽になるかと期待してい
ます。（S.52柴原至）
- * ひざの調子が良くないので、登山は全く行っておりません。年1～2度の低山ハイキングに出
掛けるくらいです。今はお金の掛からない近場の神々や史跡めぐりにはまっています。（S.52
亀田吉史）
- * なかなか新年会に参加できなくて申し訳ありません。2月7日は所用と重なっており欠席とさ
せていただきます。現在ソニーマーケティング（株）という会社で法人営業を担当しておりま
す。（S.53辻和利）
- * 昨年4月に29年間勤めたパナソニックを退職し転職しました。今は日本テクトロニクス（株）
の社長をやっています。
（S.54米山不器）
- * 昨年は飯豊・御神楽岳・
安達太良山に行きました。
今年は屋久島に行く計画
をしています。（H.5荒井
英明）
- * ご無沙汰しております。
新年会は仕事の都合で欠
席させていただきます。登山
は職場の同僚や友人と年
3～4回程度行っていま
す。またいつか一緒に登
山をさせていただけるの
を心待ちにしております。
（H.19塚澤幸子）



▲劔岳を背にした雷鳥

2009年 山とスキーの会「乗鞍高原スキー」報告

齊藤雄二 (S.41年卒)

恒例の「山とスキーの会」の「乗鞍高原スキー」は3月6日・7日・8日に行われました。3月6日午後8時に、東京駅丸の内北口に集合し、貸切バスで乗鞍高原の「みたけ荘」に向かいました。

今回の参加者は、山の会関係者が、市村OBご夫妻、大国OB夫妻、三ツ木OBご夫妻、上田OB、佐藤OB、関根OBご夫妻、齊藤OB、新井OB、それにお友達があわって、総勢20名でした。

天気は3月7日は快晴、8日は晴れで、天候不順のこの季節、絶好のスキー日和でした。前方に乗鞍岳が見え、後方に中央・南アルプスが見え、景色も満喫しました。

3月8日午後1時に「みたけ荘」前に集合し、貸切バスで、全員無事に帰宅しました。

このスキーイベントも年々参加者が減ってきているようです。スキーの上手な方の参加はもちろんのこと、初心者の方も是非参加してほしいものです。優秀な指導員が、微笑みながら待っております。



▲乗鞍スキー場全景



▲「みたけ荘」前で全員集合

春の渋沢丘陵ハイキング報告

齊藤延雄 (S.45年卒)

今年も恒例の「春のハイキング」を4月4日(土)に開催致しました。

コースは小田急線沿線で、丹沢の山並みに包まれた秦野盆地の南側にたおやかに起伏する渋沢丘陵と、丘陵上に静かに水をたたえる震生湖を巡る老若男女どなたでも参加出来るコースでした。

当日は絶好のハイキング日和で、予定通り秦野駅南口を10時に出発。桜と菜の花に春の息吹を感じつつ、丹沢山塊の雄大な景色を眺めながら里山の小径を和気あいあい辿り、渋沢駅に予定通り到着致しました。



▲渋沢丘陵近くで全員集合

渋沢駅前の解散式では、一部のOBより「喉の渴きを癒そう」との意見が出され全員一致で場所を移し、駅前いろは食堂での解散式となりました。

- コース 小田急線秦野駅（10時）－今泉名水公園－白笹稲荷－震生湖－栃窪－小田急線渋沢駅（14時）
- 参加者 上田（S.34年卒）、三木（S.37年卒）、栗又（S.38年卒）、井村（S.40年卒）、斉藤（雄）、金子（S.41年卒）、迫田、太郎良（S.43年卒）、斉藤（延）（S.45年卒）の9名。
- *今回は、老・若・男・女、多くの方々の参加を期待し企画しましたが、残念ながら若・女の参加が得られませんでした。次回は是非ご夫婦で、お孫さんも連れてご参加下さい。

2009年度秋のキャンプのご案内

幹事 斉藤（延）（S.45年卒）、新井（S.46年卒）、岡（S.50年卒）

今年は、首都圏50kmの近郊に位置する、大自然に恵まれた東丹沢清川村のキャンプ場を予定しています。丹沢大山国定公園の内にあり、その中を清流中津川が流れているスケールの大きいキャンプ場です。トイレやシャワー等の施設も充実し、女性でも安心して利用できます。河原でのバーベキューで腹を満たし、夜はキャンプファイヤーを囲み、秋の夜長を楽しみましょう。
－懐しい顔皆集まれ－

- 日 時：09年10月3日（土）～4日（日） 15時頃集合
- 集合場所：座間市立清川自然の村（バンガロー宿泊施設）
住所 神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬字金沢1703 電話 046-288-3389
- 交通アクセス

<ul style="list-style-type: none"> ○車 所要時間 東名から約60分 ○電車 所要時間 本厚木から約120分 	<ul style="list-style-type: none"> 東名厚木～国道246号（相模・八王子方面）～県道60号・64号～県道70号をヤビツ峠方面へ。 小田急線本厚木～神奈川中央交通バス・宮ヶ瀬行60分～三叉路下車～ヤビツ峠方面へ徒歩60分。（唐沢キャンプ場の上流）
-------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------
- ※若干名の方は、本厚木駅又はバス停三叉路付近で幹事車3台での送迎を予定しています。バスのダイヤは1時間に1本です。事前にお調べ下さい。
- 会 費：男性 5000円 女性 3000円 日帰り 2000円（現地にて徴収）
- 申し込み：同封のハガキにて、8月31日迄にご連絡下さい。
- その他 *洗面用具及び懐中電灯は各自ご用意下さい。
*寝具は用意いたしますが、夜は冷え込みますので防寒着も各自ご用意下さい。
*歌集有る方は持参して下さい。
*キャンプ場の手前（徒歩10分）に、座間市の無料駐車場が有りますのでご利用下さい。キャンプ場内への車の乗り入れは不可です。
*県道70号線は、舗装道路です。軽装でおいで下さい。
*翌日本厚木方面へお帰りの方は、清川村ふれあいセンター（別所の湯）で汗を流してお帰り下さい。料金は3時間700円です。
- 問い合わせ：斉藤延雄（S.45年卒）
電話 045-831-1792（自宅）
メール nobuo_saitou@tokyotekko.co.jp（会社）

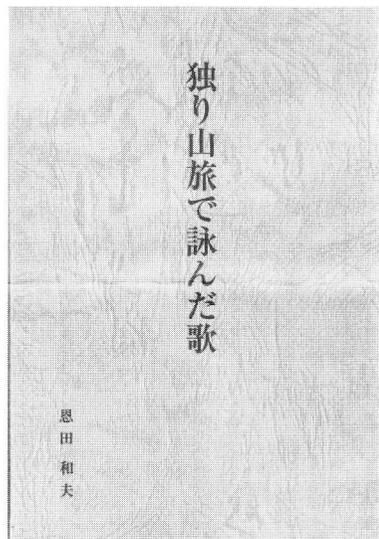
OBの方々による出版のご紹介

金子治雄 (S. 41年卒)

●恩田OB (S.37年卒) 古希記念短歌集「独り山旅で詠んだ歌」

恩田OBは2008年10月に「古希」をお迎えになりましたが、その記念としてこのたび「独り山旅で詠んだ歌」という題名で短歌集を自費出版されました。恩田OBは、ご存知のように60歳定年を期に「日本百名山」に挑み02年に踏破され、03年にはそれを基に350頁にもわたる「山日記で綴った六十年」も自費出版されました。今回の「短歌集」はそれに続くものです。

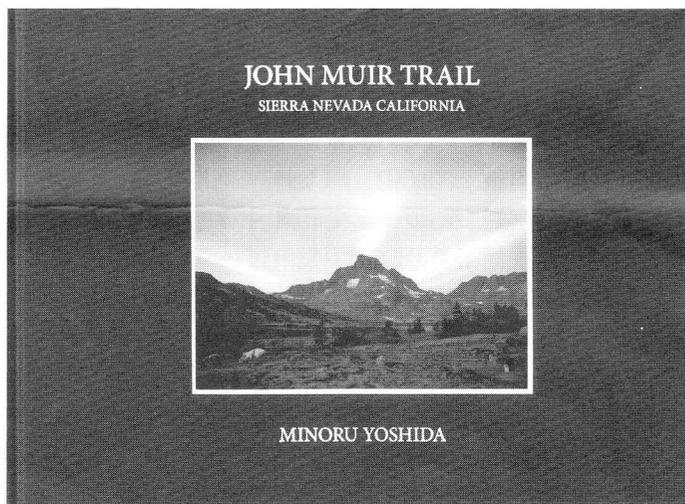
「短歌集」のまえがきでは、百名山踏破中に書き留めた「短歌風」の印象記述や情景描写を短歌に仕上げたものに加えて、近年の山行でしたための歌を、百首あまり収録したと述べられています。「短歌集」は春、夏、秋、冬、そして旅終えての5つの部にわかれていて、美しい写真とともに、様々な山での季節のひとときを詠っており、恩田OBの山旅に引き込まれてしまいます。



●吉田OB (S.38年卒) 「ジョン・ミュア・トレイル踏破写真集」

写真集は、2004年から2007年にかけてエコロジストの聖地であるジョン・ミュア・トレイル340kmの踏破の記録写真集です。素人写真と思えないほど、美しく見事な写真がたくさん掲載されています。

ジョン・ミュア・トレイルとはヨセミテのあるカリフォルニア東部のシエラ・ネバダ山脈の全長340kmのロングトレイルです。今から100年以上前、1892年にジョン・ミュアらによってサンフランシスコに山岳団体で



もあり自然保護団体でもあるシエラ・クラブが創立され、以来ジョン・ミュア・トレイルは自然保護の象徴として存在しています。全長340kmのジョン・ミュア・トレイル踏破には3000mを越える峠を11も越さなくてはならず、高低差の大きな登山道ですが、吉田OBは04年、05年、06年と

毎年夏2週間ずつを要して、25kmのザックを担ぎ幕営しながら踏破しました。更に07年にも写真の取り直しと補充のため出かけました。

2004年 ヨセミテからレッズメドウまでの92kmをマンモスレイクへ

8月14日～26日 13日間 真下OB（39年卒）と同行

2005年 レッズメドウからルコンテ溪谷を東に外れてビショップパスからサウスレイクへ125km

8月5日～16日までの12日間

2006年 ビショップからルコンテ溪谷へ戻りマウントホイットニーをピストンしてホイットニーポータルへ150km

8月10日から23日までの14日間

2007年 写真の撮り直しと補充のために、マンモスレイクから北上しヨセミテまでの100kmと周辺のヴァリエーションルート

8月6日から19日までの14日間

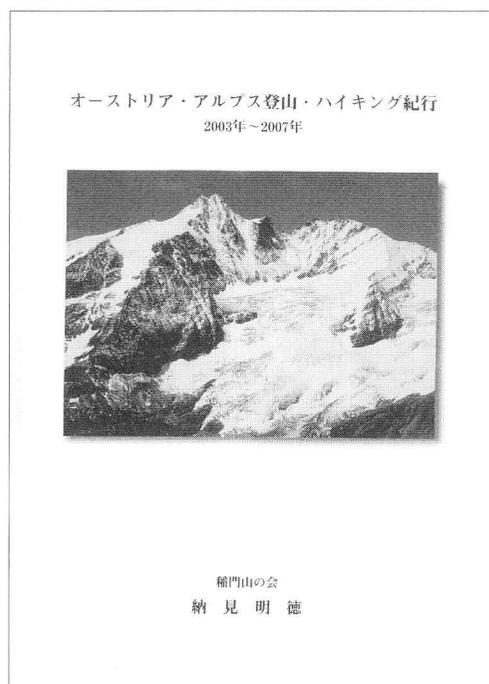
●納見OB (S.35年卒)「オーストリア・アルプス登山・ハイキング紀行 2003年～2007年」

2008年11月に納見OBが、ご自身を含めて5年間にわたる山の会OBたちのオーストリア・アルプスの登山とハイキング紀行をまとめられ出版されました。この紀行には下記のOBの方々がそれぞれパーティを組んで、或いは単独で参加され記録を残しておられます。

オーストリア・アルプス探訪OBの方々

納見OB	35年卒	05年、06年、07年の3年間の記録
恩田OB	37年卒	04年の記録
金子（弘）OB	37年卒	04年の記録
三木OB	37年卒	05年、06年の記録
打矢OB	37年卒	04年、07年の記録
松本（公）OB	39年卒	07年の記録
真下OB	39年卒	07年の記録
田野辺OB	40年卒	03～07年の4年間の記録

紀行集は100ページにもわたる大冊で、オーストリア・アルプスやチロルまたドロミテなどの詳細な紀行に加えて、後に続く会員のために、現地での運賃、宿泊など通常入手が難しい情報も具体的に掲載されています。



2008年度会計報告 (2008年1月1日～12月31日)

稲門山の会

単位：円

項 目	収 入	支 出	残 高	備 考 欄
前期からの繰越額 (預金・現金計)			5,069,228	
年会費納入額 (延112名)	494,000			
新年会費	318,000			
受取利息	4,316			
山の会バッジ販売	4,000			創立50周年記念バッジ
新年会費用の支払 (大隈会館・ホテル)		405,053		無断欠席者補填含む
インターネット基本料		15,756		ホームページ
東京都山岳連盟年会費		20,000		
山の会行事補助金 (秋のキャンプ他)		56,339		
現役補助金 (山用具購入+新人募集費)		161,000		
役員会合会費 (大隈会館席料3回分)		18,900		
稲山通信印刷費 (第16号・17号2回分)		96,705		
事務局経費 (切手、封筒、葉書等)		100,000		新人募集ポスター含む
銀行振込代及び雑費		17,060		
収支合計	820,316	890,813	4,998,731	
項目別預金残高内訳書				
一般会計	郵便公社預金		2,043,104	預金残高照合済
	年会費入金振替郵便口座		655,400	預金残高照合済
	みずほ銀行口座		300,227	預金残高照合済
特別会計	遭難対策費 (郵便定期預金①)		1,000,000	預金残高照合済
	遭難対策費 (郵便定期預金②)		1,000,000	預金残高照合済
合 計			4,998,731	

上記の会計報告を致します。会計幹事：関根聰一郎 (会計監事が銀行残高証明書と照合済です)

訃報：2009年3月に五十嵐守さん (S.37年卒)、2009年4月に難波菊次郎さん (S.34年卒)、
2009年6月に柳内雅雄さん (S.38年卒) が逝去されました。故人を偲び、ご冥福をお
祈り申し上げます。

編集後記

今年の新年会は多数のOBに集まっていたいただき、大隈会館で盛大に開催することが出来ました。その後、3月の「乗鞍高原スキー」、4月に入っての「渋沢丘陵ハイキング」があり、成功裏に終わりました。10月には秋のキャンプも予定されています。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

学生時代「山の会」で山登りをしたおかげで、今も時々山に登っています。5月連休の半ば、帯状の高気圧が日本全国を覆うとの気象情報に、気もそぞろになって、急遽2泊3日で立山に登ってきました。雷鳥沢から別山乗越にでて、「点の記」の劔岳をじっくり見て、富士の折立経由で雄山まで行きました。

雄山の山頂からは北アルプスのほとんどを見ることが出来、夏合宿で数回集中した「雲の平」が秀麗な笠ヶ岳を背にして、真っ白に輝いていました。雄山から雷鳥沢に下り、10時間の行程でした。若き日の2倍の時間です。OBの皆様の若き日を想う縁となるかと思い、「劔岳を背にした雷鳥」と「笠ヶ岳を背にした雲の平」の写真を載せておきます。
齊藤雄二 (S.41年卒)